

■NEDO「地域特性・拡張性を考慮した運航管理システムの実証事業」の内容

「有人地帯における補助者なし目視外飛行」は、「小型無人機に係る環境整備に向けた官民協議会」で、2022年度の実現を目指すとされていますが、そのためには、ドローン同士による衝突や、ヘリコプター等との接触事故を防止する高度な運航管理システムが必要不可欠です。NEDOではこれまでにそのような運航管理システムを開発し、検証を進めてきました。※

本実証事業では、国内の様々な地形（平野部、山間部、離島部）や複数のユースケース（物流、警備、災害対策、空撮、測量、点検、農業等）で、あらゆる環境を想定した実証を実施します。また、運航管理システムを用いた持続可能なドローン運航ビジネスのあり方を検討し、社会実装に必要な要素を整理検討の上、ガイドラインの策定も行います。

※ 本事業公募サイト参照 <https://nedo-dress.jp/news/2211.html>

■10月25日(月)実証試験説明会スケジュール（西郷総合グラウンド）※雨天時中止／順延の扱いは未定

時間	実施内容	
13:30～13:40	開会挨拶	地域実証事業概要、タイムスケジュール説明
13:40～13:45	美郷町長ご挨拶	田中町長
13:45～14:00	ユースケース概要説明	「点検」「測量」「物流」「農業」の4ケース
14:00～14:20	ユースケース詳細説明	各ケースに分かれて詳細説明、意見交換
14:20～14:55	ドローンによるデモ飛行	各ケース順にフライトデモ実施
14:55～15:00	閉会挨拶	翌日以降のスケジュール等説明